

フランソアグループにおける eBASEの活用について



株式会社 フランソア
管理部 ITサポート課 和智 雅孝

本日の内容

- 企業概要(フランソアグループ)
- eBASE導入前の仕組みと課題
- eBASE導入後の仕組みと効果
- 今後の展開

フランソアグループ(2)

フランソア・・・製パン、菓子製造販売



ニューイングベーカリー九州・・・セブンイレブンベンダー事業



18.10.26
18.11.16

フランソアグループ(3)

めん食・・・麺類、弁当等製造卸業

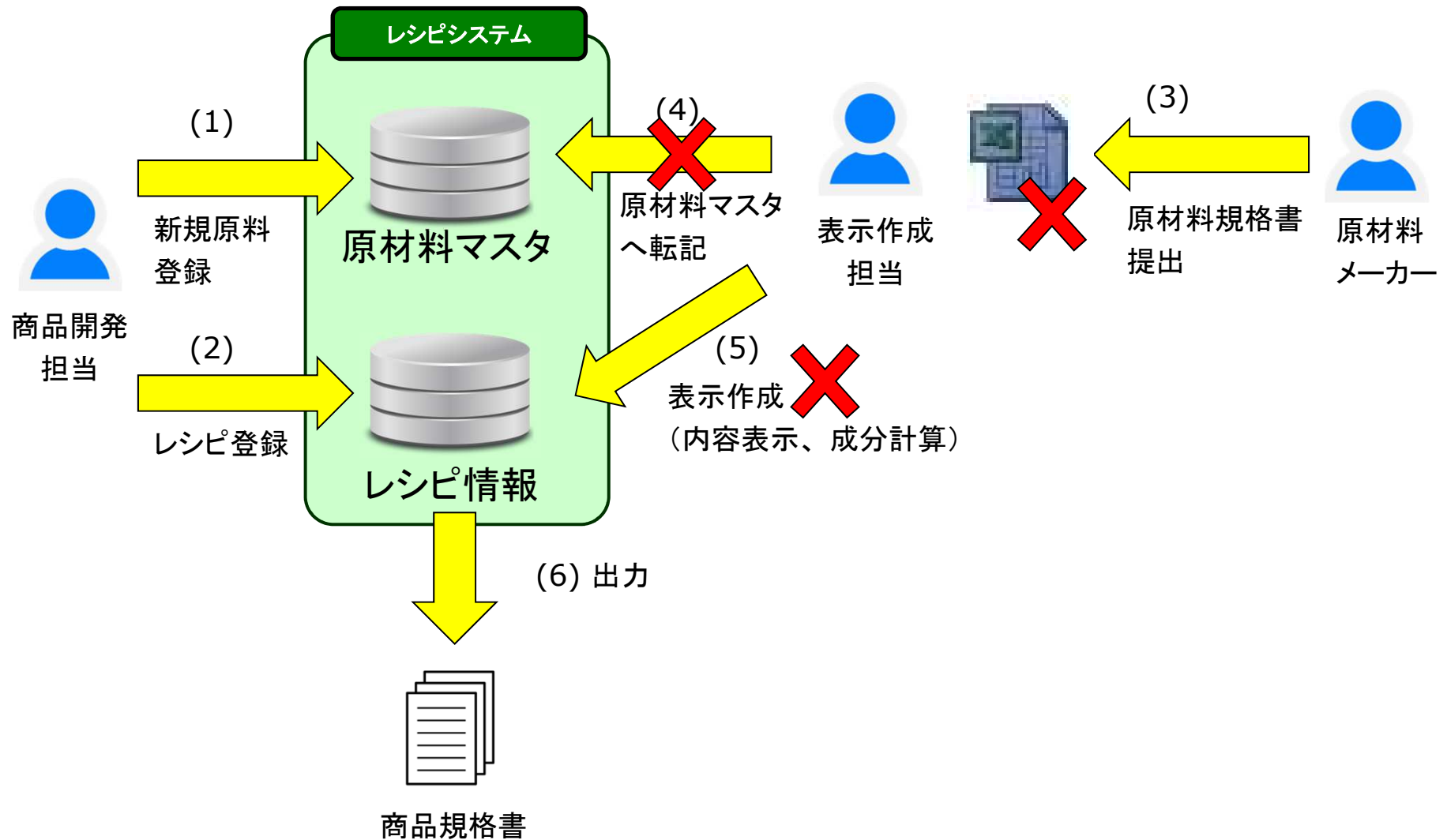


スイーツ・スイーツ・・・洋菓子製造・販売



18.10.26
18.11.16

eBASE導入前の仕組み



18.10.26
18.11.16

eBASE導入前の課題

1. 原材料規格書の管理が紙(Excel)ベース
2. レシピシステムの原材料マスタへの転記
3. 有事対応(原料トレース)に時間がかかる
4. 法令変更によるレシピシステム修正

eBASE導入前の課題

1. 原材料規格書の管理が紙(Excel)ベース

- (a) **Excelファイル**なので、管理が煩雑になる
- (b) Excelファイルは存在するが、**実質印刷した紙**を使って管理
- (c) 調べるときには**紙をめくる。検索が難しい**
- (d) 古い書式のままの規格書が存在。



2. レシピシステムの原材料マスタへの転記

原材料規格書を見て、レシピシステムの原材料マスタへ転記しなければならない。

- (a) 転記作業そのものの**ムダ**
- (b) **転記ミス**の可能性



eBASE導入前の課題

3. 有事対応(原料トレース)に時間がかかる

例えばブラジル産の畜肉が自社商品に含まれているかどうかを調べるとなると、**1,500枚以上**の紙の原材料規格書をひたすら調べて対象原材料を特定していた！

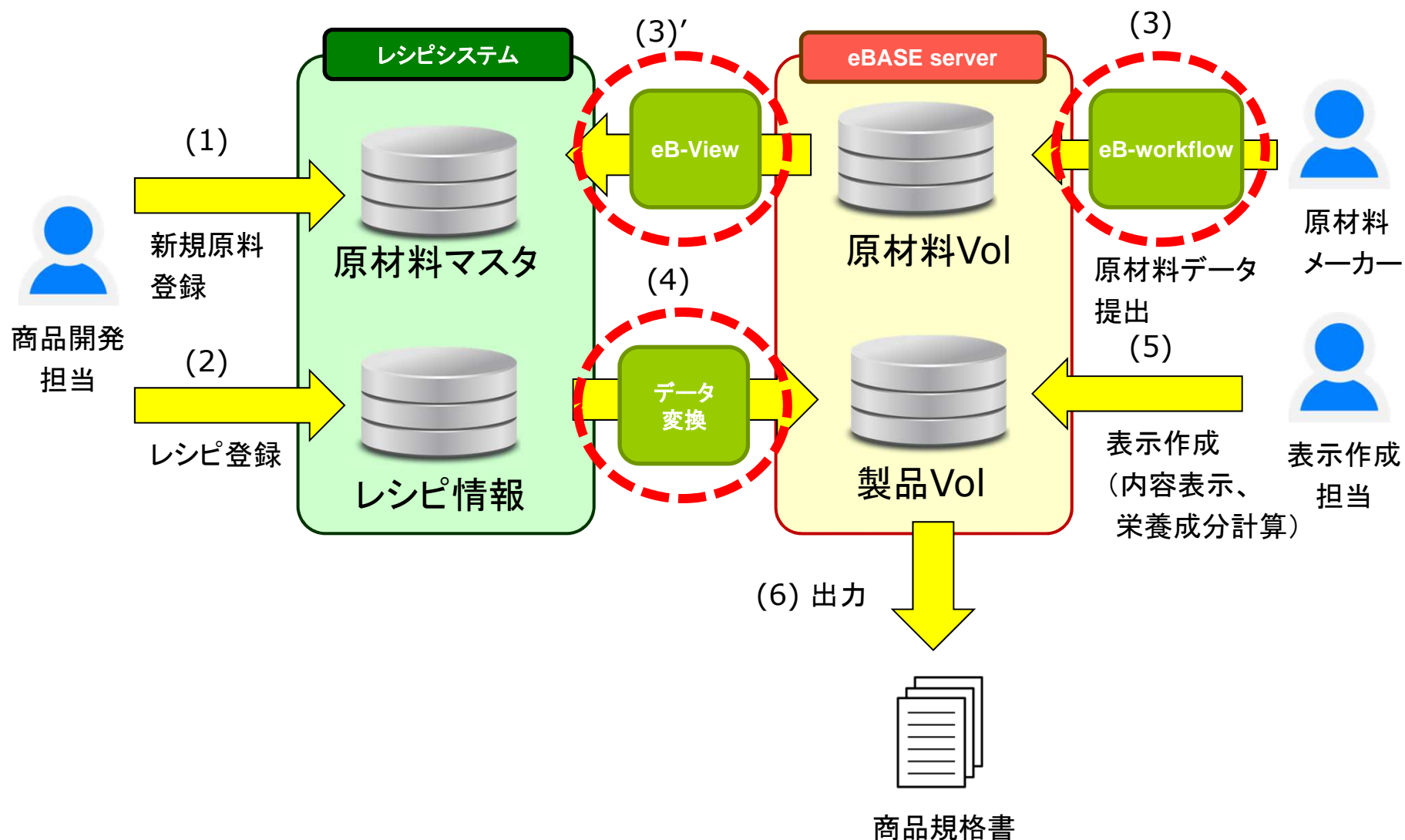


4. 法令変更によるレシピシステム修正

法令変更に伴い、レシピシステムの表示作成機能を修正しなければいけない時がある。

食品表示法対応での「・」や「/」の表記への変更等

eBASE導入後（システムイメージ）



eBASE導入時の工夫

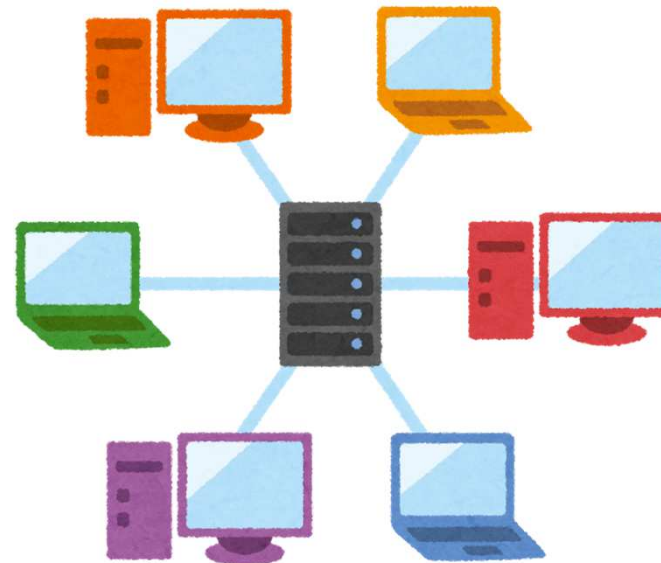
1. 原材料統一コードの導入
2. レシピシステムのレシピ情報→eBASE連携
3. 原材料データのeBASE→レシピシステム連携
4. 原材料データの提出、承認作業にeB-workflowを導入

eBASE導入時の工夫

1. 原材料統一コードの導入

- (a) いろんなシステムが原材料マスタを独自に持っており
同じものを紐づけない
(複数のレシピシステム、工場毎の生産管理システム. . .)

eBASEの原材料Volを**フランソアグループの原材料マスタの原本**として位置づけ、原材料統一コードを使って各システムの原材料マスタを**紐づけられる**ようにした。



eBASE導入時の工夫

2. レシピシステムのレシピ情報→eBASE連携

- (a) レシピシステムをeBASEに置き換えるのは断念
- 目的が違う（レシピ：製法、eBASE：品質保証、トレース）
 - eBASEにレシピシステムの機能を持たせるカスタマイズも困難
- (b) レシピシステムにあるレシピ情報をeBASEに転記したくない
- 転記作業は**ムダ**
 - 転記ミスの**リスク**

eBASEの担当者と相談し、連携機能を作成。

転記作業をなくし、既存システムデータを有効活用

※この機能の実現のために原材料統一コードの仕組みが必要だった

eBASE導入時の工夫

3. 原材料データのeBASE→レシピシステム連携

- (a) eBASEとレシピシステムの原材料データとの整合性を取りたい
- 商品の栄養成分、アレルギーは試作段階から評価するので、レシピシステムの原材料マスタも可能な限り正確にしておきたい。
 - 当然、eBASEからレシピシステムへの**転記作業はしたくない**。

eB-Viewを使って**アレルギー**、**栄養成分値**を自動**連携**。
安心してレシピシステムの原材料マスタを使える



eBASE導入時の工夫

4. 原材料データの提出、承認作業にeB-workflowを導入

(a) メールでのやり取りを避けたい

- 修正依頼のメールを誤って他メーカーに送ってしまわないように

eB-workflowで**メール送信先間違いを防ぐ**



(b) 原材料データの受入状況を**ステータス管理**したい

(c) **納期管理の自動化**

- 納期遅れのメーカーには催促メールを送っているが、なかなか面倒

催促メールを自動化。納期を3日過ぎると自動で催促メールを送信。
提出がなければ以後3日置きに自動で催促メールを送る

eBASE導入による効果

1. 原材料規格書の管理が楽になった。

- (a) Excelでの管理 -> eBASEで**一元管理**
- (b) 導入に合わせて原材料データを再収集。
すべての原材料データが最新化
- (c) **検索しやすい**、変更履歴が追いやすい
- (d) ワークフロー機能で規格書提出者とやり取りしやすい。
提出状況の**ステータス管理が容易**。自動催促メール。



2. 表示作成業務の改善

- (a) 表示の元となる原材料マスタデータの転記作業廃止
作業時間削減 + 正確性向上 (転記ミスなし)
- (b) レシピシステムではできなかった**高度な表示作成機能**の活用
(ex. 着色料、増粘多糖類のまとめ表記機能)

eBASE導入による効果

3. eBASEでの商品規格データ提出が楽に早く

eBASE jr.で一からデータを入力しなくてよくなった。

導入前：1品あたり**1日**

導入後：1品あたり**30分**

※商品データ提出先20社のうち、10社がeBASEでの提出

4. 有事対応（原料トレース）が楽に早く

原材料でも製品でも検索機能で容易に探し出せる。

導入前：**4, 5人がかりで1日**かかっていた

導入後：一人で一時間程度

※弊社の仕組み上、検索機能で一発とは
ならなかったものの十分な効果



eBASE導入による効果

5. レシピシステム保守工数軽減

法令変更に伴う表示作成機能の修正作業が不要に
食品表示法対応はeBASEの機能を使って対応した。

6. 発売中商品の管理

生きてる商品（発売中の商品）の管理は意外と面倒。
発売中フォルダを作って、そこへの出し入れを発売開始日、終売日を使って自動化

今後の展開

1. グループ企業（めん食）への横展開
2. 生産管理システムとの連携
アレルギー情報を生産管理システムと連携する